

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市大宮学園
条例上の設置目的	児童福祉法(昭和22年法律第164号)第6条の2の2第1項に規定する障害児通所支援を行う。
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	障害児療育の専門性を高め、質の高い療育を提供し、心身の健やかな発達や集団生活への適応を支援すること。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	心身に障害のある児童または心身の発達に遅れのある児童に対し、日常生活における基本的な動作の指導及び集団生活への適応訓練を行うこと。
制度導入により見込まれる効果	指定管理者制度導入により、市民サービスの向上と管理経費の縮減の効果を見込む。
成果指標※	① 施設利用者数 ② 利用者アンケートにおける利用者満足度
数値目標※	① 施設利用者数の増加(前年度比) ② 利用者アンケートにおける満足度9割以上
所管課	保健福祉局高齢障害部障害福祉サービス課

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	社会福祉法人千葉市社会福祉協議会
主たる事業所の所在地 (代表団体)	千葉市中央区千葉寺町1208番地2
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年)
選定方法	非公募
非公募理由	次の理由により、公募の方法によらず千葉市社会福祉協議会を指定管理者とした。 (1) 専門性の高いスタッフの確保 医師や専門職によるサービスの提供が求められるため、専門性が高く、スタッフの確保が困難である。 (2) 利用者等との信頼関係 利用者及びその保護者と現在の指定管理者との信頼関係が構築されている。 (3) より質の高いサービス提供 これまでの経験を踏まえた、より質の高いサービス提供が期待できる。
管理運営費の財源	指定管理料

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標※	R5年度実績	達成率※
施設利用者数	施設利用者数の増加	8,880人(R4年度8,629人)	102.9%
利用者アンケートにおける利用者満足度	満足度90%以上	89.3%(R4年度87.6%)	99.2%

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費 目		R5年度	R4年度	計画実績差異・要因分析		
				差異		主な要因
指定管理料	実績	273,731	269,618	実績－計画	△ 12,879	人事異動による減
	計画	286,610	288,371	計画－提案	△ 23,113	人事異動による人件費積算減
	提案	309,723	304,882			
利用料金収入	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
その他収入	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
合計	実績	273,731	269,618	実績－計画	△ 12,879	
	計画	286,610	288,371	計画－提案	△ 23,113	
	提案	309,723	304,882			

イ 支出

(単位：千円)

費 目		R5年度	R4年度	計画実績差異・要因分析		
				差異		主な要因
人件費	実績	198,753	196,026	実績－計画	△ 14,793	育児休暇、休職等による減
	計画	213,546	214,779	計画－提案	△ 13,708	人事異動による減
	提案	227,254	224,481			
事務費	実績	12,922	13,424	実績－計画	△ 825	空調改修工事（市負担）に伴う設備等の修繕費の執行減
	計画	13,747	15,145	計画－提案	△ 2,589	執行精査による減
	提案	16,336	17,438			
事業費	実績	16,836	17,456	実績－計画	△ 2,385	電気・ガス価格激変緩和対策事業による水道光熱費の減
	計画	19,221	17,916	計画－提案	173	水道光熱費の増
	提案	19,048	20,324			
委託費	実績	43,573	39,436	実績－計画	4,136	給食業務委託契約等の委託料上昇のため
	計画	39,437	39,238	計画－提案	△ 7,092	執行精査による減
	提案	46,529	42,032			
その他	実績	530	1,244	実績－計画	0	
	計画	530	1,293	計画－提案	△ 26	
	提案	556	607			
本社費・共通費	実績	1,918	2,191	実績－計画	1,789	区分間資金移動
	計画	129	0	計画－提案	129	区分間資金移動
	提案	0	0			
合計	実績	274,532	269,777	実績－計画	△ 12,078	
	計画	286,610	288,371	計画－提案	△ 23,113	
	提案	309,723	304,882			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

千葉市社会福祉協議会の各事業（指定管理事業、委託事業）予算額に応じて按分。

(2) 収支状況

(単位：千円)

		R5年度	R4年度
必須業務	収入合計	273,731	269,618
	支出合計	274,532	269,777
	収 支	△ 801	△ 159
自主事業	収入合計	0	0
	支出合計	0	0
	収 支	0	0
総収入		273,731	269,618
総支出		274,532	269,777
収 支		△ 801	△ 159
利益の還元額			
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

評価項目	市の評価	特記事項
施設利用者数の増加（前年度比）	C	8,880人（R4年度8,629人）
利用者アンケートにおける満足度9割以上	C	88.8%（R4年度87.6%）

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

- A：成果指標が市設定の数値目標の108%以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）
 B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上108%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）
 C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
 D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満
 E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

「利用者アンケートにおける満足度9割以上」の評価方法

- A：成果指標が市設定の数値目標の108%以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）
 B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上108%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）
 C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
 D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満
 E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	11.4%の削減（人事異動によるもの）

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

- A：選定時の提案額から10%以上の削減
 B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
 C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
 （D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし）
 -：対象外（市の指定管理料支出がない。）

(3) 管理運営の履行状況

評価項目		自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理				
	市民の平等利用の確保	C	C	・千葉市大宮学園設置管理条例及び管理規則に基づき、適切に施設管理を行った。 ・安全管理マニュアル、事故対応マニュアル、感染症予防マニュアル等に従い適切に指定管理を行った。 ・業務継続計画（BCP）を策定した。 ・毎月避難訓練を行った
	関係法令等の遵守			
	リスク管理・緊急時対応			
2 施設管理能力				
(1) 人的組織体制の充実				
	管理運営の執行体制	C	C	・職場内研修及び外部研修等の受講を推進した。
	必要な専門職員の配置			
	従業員の能力向上			
(2) 施設の維持管理業務				
	施設の保守管理	C	C	・日常点検・定期点検を適正に実施した。
	設備・備品の管理・清掃・警備等			
3 施設の効用の発揮				
(1) 幅広い施設利用の確保				
	開館時間・休館日	C	C	・設置管理条例及び管理規則に基づき、開館時間及び休館日を遵守した。
	利用料金設定・減免			
	利用促進の方策			
(2) 利用者サービスの充実				
	利用者への支援	C	C	・各ルームにおいてアンケートを年2回実施した。 ・意見箱を常置した。
	利用者意見聴取・自己モニタリング			
(3) 施設における事業の実施				
	施設の事業の効果的な実施	C	C	・継続して園児兄弟・姉妹預かり事業を実施した。
	自主事業の効果的な実施			
4 その他				
	市内業者の育成	C	C	・積極的に市内業者を利用した。
	市内雇用への配慮			
	障害者雇用の確保			
	施設職員の雇用の安定化への配慮			

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
 C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
 D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
 E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
・引き続き、保護者の交流会や親子通園など利用者ニーズに応えられるような運営をお願いしたい。	令和5年度	・保護者の交流は、運動会を土曜日に開催し家族全員が競技に参加するなど、他家族との交流を深めることができた。親子通園のアンケート結果の満足度が91%と高評価だったため、引き続き親子通園を行い、対人関係の基盤となる親子関係を育み、様々な発達段階にある子どもに応じた療育を行っていく。

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

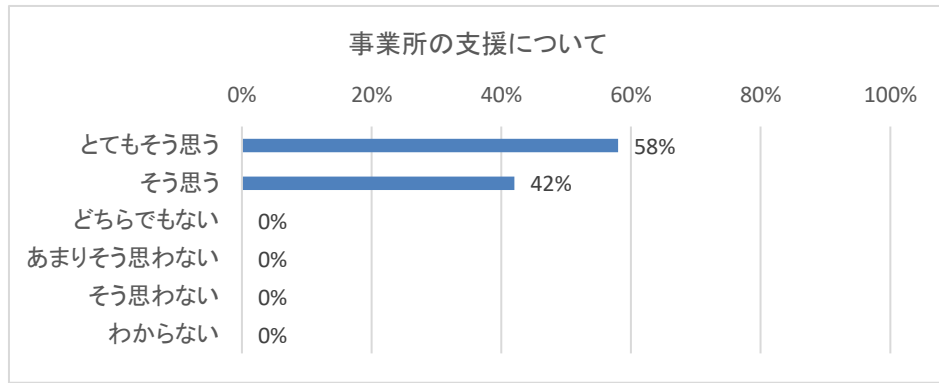
実施内容	調査方法	各施設にてアンケート用紙を保護者に配布し、施設利用時に回収（年2回）														
	回答者数	延べ134名														
	質問項目	・職員の配置数や専門性について ・療育内容について ・親子通園について ・個別支援計画について ・家族支援について等														
	令和5年度実施アンケートより一部抜粋（詳細については、事業報告書P54～P102参照）															
	利用者アンケートにおける満足度（成果指標） 事業報告書P56～P109より															
	利用者アンケートにおける満足度 <table><thead><tr><th>満足度</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>とても思う</td><td>59.6%</td></tr><tr><td>そう思う</td><td>29.7%</td></tr><tr><td>どちらでもない</td><td>4.4%</td></tr><tr><td>あまりそう思わない</td><td>0.9%</td></tr><tr><td>そう思わない</td><td>1.9%</td></tr><tr><td>わからない</td><td>3.5%</td></tr></tbody></table>		満足度	割合	とても思う	59.6%	そう思う	29.7%	どちらでもない	4.4%	あまりそう思わない	0.9%	そう思わない	1.9%	わからない	3.5%
	満足度	割合														
	とても思う	59.6%														
そう思う	29.7%															
どちらでもない	4.4%															
あまりそう思わない	0.9%															
そう思わない	1.9%															
わからない	3.5%															
各サービスの前後期における、全設問回答数である合計3,057の内、 「とても思う」（59.6%）「そう思う」（29.7%）の割合の合計を成果指標（89.3%）とした。																
ア ひまわりルーム（前期） 配布数40、回答数34 回答率85.0% 事業報告書P57																
事業所の支援について <table><thead><tr><th>満足度</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>とても思う</td><td>71%</td></tr><tr><td>そう思う</td><td>26%</td></tr><tr><td>どちらでもない</td><td>0%</td></tr><tr><td>あまりそう思わない</td><td>0%</td></tr><tr><td>そう思わない</td><td>3%</td></tr><tr><td>わからない</td><td>0%</td></tr></tbody></table>		満足度	割合	とても思う	71%	そう思う	26%	どちらでもない	0%	あまりそう思わない	0%	そう思わない	3%	わからない	0%	
満足度	割合															
とても思う	71%															
そう思う	26%															
どちらでもない	0%															
あまりそう思わない	0%															
そう思わない	3%															
わからない	0%															
ひまわりルーム（後期） 配布数37、回答数34 回答率91.9% 事業報告書P68																
事業所の支援について <table><thead><tr><th>満足度</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>とても思う</td><td>71%</td></tr><tr><td>そう思う</td><td>20%</td></tr><tr><td>どちらでもない</td><td>6%</td></tr><tr><td>あまりそう思わない</td><td>0%</td></tr><tr><td>そう思わない</td><td>3%</td></tr><tr><td>わからない</td><td>0%</td></tr></tbody></table>		満足度	割合	とても思う	71%	そう思う	20%	どちらでもない	6%	あまりそう思わない	0%	そう思わない	3%	わからない	0%	
満足度	割合															
とても思う	71%															
そう思う	20%															
どちらでもない	6%															
あまりそう思わない	0%															
そう思わない	3%															
わからない	0%															

結果

イ たけのこルーム（医療型・前期）

配布数13、回答数12

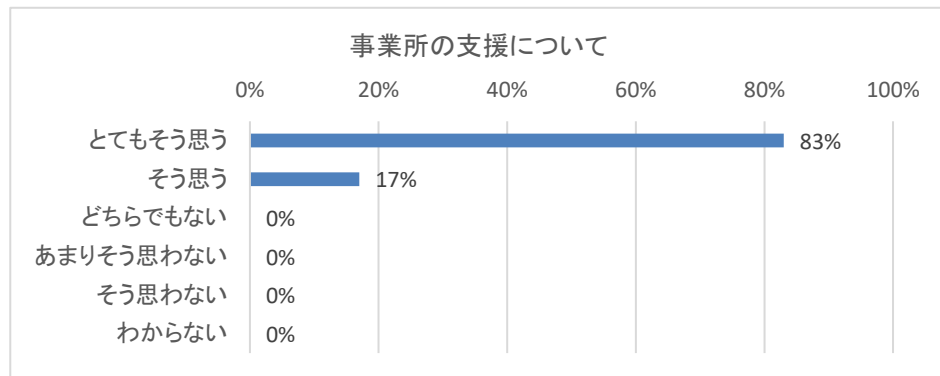
回答率92.3% 事業報告書P78



たけのこルーム（医療型・後期）

配布数12、回答数12

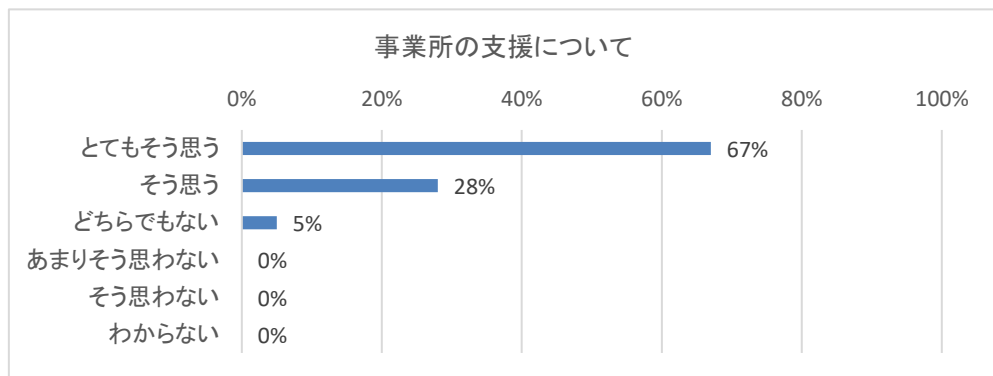
回答率100% 事業報告書P85



ウ たけのこルーム（児発・前期）

配布数23、回答数19

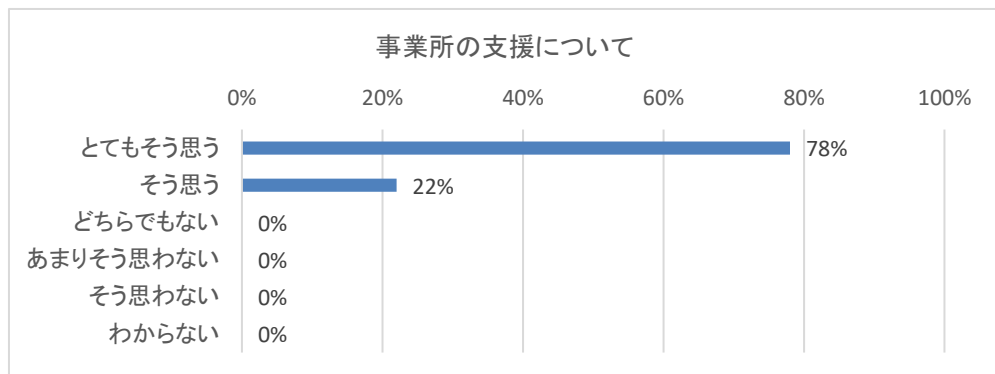
回答率82.6% 事業報告書P93



たけのこルーム（児発・後期）

配布数27、回答数23

回答率85.2% 事業報告書P99



(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
教材が古い。(ひまわりルーム)	各保育室の玩具や本、個別教材を点検し、古くなったものは更新して整理をしました。
兄弟姉妹がいる場合、乳幼児はファミリーサポートに預けることに不安があります。児童でも長期休暇の時は、慣れていないボランティアに預けることに不安もあり、預け先がない場合もあるため困ります。(たけのこルーム 医療型)	3歳未満の兄弟姉妹には、子育て経験豊富なボランティアを配置しました。兄弟姉妹の様子や関わり方など具体的にボランティアに説明し、保護者が安心して預けられる環境を整えて安全管理を徹底し、兄弟姉妹の預かりを行いました。
人数が多い時に、トイレが混み合うので、便座に座る練習がゆっくりできないので、少し余裕があると嬉しいです。(たけのこルーム 児発)	指導室にあるトイレだけでなく、指導室から出た別のトイレを案内し、分散することで余裕をもって便座に座ることができるよう配慮しました。職員も付き添いながらトイレトレーニングの経験を積めるように努めました。

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

総括評価	C	所見	施設全般 - 令和5年度は、新型コロナウイルス感染症5類移行後も感染予防対策を徹底し、安心・安全な施設運営に努めました。 - 施設維持管理については法令等に基づき点検等を実施し、必要に応じ順次修繕を実施し、児童、保護者が安全かつ快適に施設利用できる状態を維持しました。 ひまわりルーム - 新型コロナウイルス感染症5類移行後も感染拡大防止対策として、他集団への移行を希望する保護者向けの勉強会は対面では行わず、千葉県幼稚園協会・千葉市役所こども未来局幼児教育保育部幼保指導課に資料を依頼し、希望する保護者に資料を配布して説明を行い、個別に相談を受けました。その結果幼稚園へ1人移行することができました。 - 新型コロナウイルス感染症や他感染症に罹患する児童はいましたが、登園自粛をする児童が減ったことで、出席率は78.7%と昨年度の76.7%より向上することができました。アンケートによる利用者満足度も91.3%と目標の90%を越えることができました。 たけのこルーム - 医療型児童発達支援センターでは、運営方針に沿って日々の療育活動や分離を実施しました。昨年度まで縮小していた行事を人数制限することなく家族参加の上で実施しました。ボランティアの受け入れは、通園児兄弟・姉妹一時預かり事業の実施と、親子分離や行事による利用児童の見守りなど、保護者が安心して登園できる環境を整えました。また、保護者勉強会では千葉県歯科医師会の協力による講演会を開催しました。勉強会の実施や保護者の相談に応じ、保護者の悩みの負担軽減に努めました。 - 児童発達支援事業においても、親子分離の時間を設け、保護者同士の交流を図りました。保護者勉強会では、心理判定員による勉強会や千葉県歯科医師会の協力による講演会を開催し、子どもとの関わり方や育児、発達の悩みへの相談に応じ、保護者の不安や負担の軽減に努めました。また、利用児童の通う保育所(園)等や幼稚園を訪問して課題や支援の方向性の共有を図る等の地域連携に努めました。(保育所(園)・幼稚園訪問13件)療育では、季節に合わせた行事を増やし父親参観日などを実施し、父親同士の情報交換と交流が持てる場を設けました。
------	---	----	--

(2) 市による評価

総括 評価	C	所見	・保護者の利用児への理解を深める、また、利用児の生活を豊かにするために実施している家族遠足等の行事を、可能な限り実施するため、開催日の分散等の工夫を行った。 ・ひまわりルームでは、利用者数が昨年度よりも増加（R4：6,844人→R5：7,349人）、利用者満足度も94%と高い評価を受けており、保護者ニーズに沿った満足度の高い支援を行った。 ・たけのこルームでは、利用児個々の発達や家庭での保護者の悩みに対し、臨時個別相談を実施するなど柔軟に個別相談を行った。また、地域の方を積極的にボランティアに受け入れることで、地域の方の障害についての理解促進と同時に保護者が安心して登園できる環境づくりを行った。
------------------	----------	-----------	---

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
 C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
 D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
 E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会の意見

- ・財務状況については、本部会に提出された財務分析シートを確認した範囲では、倒産や撤退等のリスクは認められず、特段の問題はないと認められる。
 - ・管理運営については、概ね適切に管理が行われていると認められるが、次の事項に留意されたい。
- ①ボランティア等の受入れや利用者数の増加に向けた取組について、引き続き努めていただきたい。